

平成23年度第5回奈良市立中学校給食導入検討委員会会議録

開催日時、 平成23年7月27日(水) 午後3時00分～午後5時00分

開催場所、 奈良市教育センター8階多目的講座室8-1

出席者、 【委員】

菊崎会長、石川副会長、松山委員、宮木委員、今中委員
(5名全員出席)

【事務局】

中室教育長、福岡教育総務部長、北学校教育部長、
山口保健給食課長、中岡教育総務課長補佐、松本学務課長補佐、
葛和学校教育課指導主事、中島富雄第三小学校学校栄養職員、
山本保健給食課長補佐、今田給食係長、吉川主任、伊藤主務



開催形態、 公開(傍聴人5人)

会議事項、
・ 会長あいさつ
・ 給食実施方式の検討

自校方式を主とした各学校の検証

各校別の現況写真・施設の配置図から
関係車輛動線の安全性などの視点から

・ その他

会議資料、 特に用意せず

議事の要旨、

*会長あいさつ

委員の皆様には、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

前回から1校ずつ精査するという方法で検討をしておりますが、詳しい情報が
必要との要望がありましたことから、事務局で現場確認をしていただき、現場の
写真や関係車輛の進入路の安全性についても確認をしていただきました。

本日はパワーポイントで1校ずつ説明をしていただく予定をしております。

まず、順序としては自校方式が可能かどうかを検証し、次に親子方式、そして最後にセンター方式というように検証していくのが良いかなと思いますが、この方法で検証していくことでよろしいでしょうか。

ご意見などがございましたらよろしく申し上げます。

松山委員：親子方式が出来ないという学校は、出来ないという方向で進めていくのか、それとも一定の条件を満たしていれば可能性も含めて出来る方向で持っていくのか、そのあたりをもう少し説明してください。

菊崎会長：私の方では、物理的に不可能なところは無理というように認識しておりますが、事務局はいかがですか。

事務局（山口）：いろいろな諸条件により断念せざるを得ないという状況です。

菊崎会長：今日は、自校方式と親子方式について検証しなければなりませんので、進行にご協力をお願いします。

それでは、1校ずつ説明を受けながら、皆さんで検証していただきます。

まず最初に判断基準について、同じ認識をしておかなければなりません。

今、画面に映し出していただいております基準でいきたいと思しますのでよろしく申し上げます。

それでは、事務局から説明をお願いします。



事務局（中岡）：自校方式の検討について各学校1校ずつ説明



事務局（今田）：親子方式を検討しなければならない学校について説明

菊崎会長：ありがとうございました。

問題はCとD判定の5校についてですが、親子方式も難しいが校区をまたがれば可能になるのか、そのあたりの検討をどうしましょうか。

宮木委員：小学校との親子方式が難しい場合、近くの中学校の自校方式で作った

給食室から運ぶというような、いわゆる兄弟方式を考えてみてはいかがでしょうか。

事務局（今田）：条件さえクリアできれば可能だと思います。

石川委員：先ほど校区外の組み合わせの可能性のお話もありましたので、それらをまとめた資料がいただきたいです。また近隣の中学校も考えることができるのかもまとめていただきたいです。

菊崎会長：そのような資料があればいろいろな議論をしやすいと思いますので、次回ご用意いただくとして本日のところは終わりたいと思います。今日の検討について何かご意見はございますか。

松山委員：今後センター方式の検討になっていくと思いますが、次回資料にあわせてセンター方式が可能かどうかということも加えていただきたいと思います。

今中委員：施設の部分での検討は進んでいますが、アンケートの中でも出てきていました給食費の徴収方法や食育も、導入するのであれば論議していかなければならないと思いますので、そういう検討もしていただきたいと思います。

菊崎会長：まずハードの部分を検討して、その後ソフトの面も検討していかなければなりませんね。

それでは予定されている時間がきましたので、この続きは次回に持ち越したいと思います。ありがとうございました。

事務局（山本）：今回の会議録の署名は、菊崎会長と今中委員となりますので、よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

奈良市立中学校給食導入検討委員会運営要領第10条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

.....
.....